

校長室だより

第10号

柏原市立柏原中学校
校長 石田 智
令和6年11月6日（水）発行

○赤い羽根共同募金

生徒会では10月21日（月）、22日（火）に赤い羽根共同募金活動を行いました。午前7時40分からJR柏原駅前、8時から校門前の2ヶ所に分かれて募金を呼びかけました。駅では通勤途中の方々が足を止めて募金をしてくれ、学校では生徒たちがお金の入った所定の封筒を募金箱に入れてくれるなど、2日間で総額15,000円の募金が集まりました。集まった募金は市のお年寄りや障がいをもった人たちの支援など、さまざまな福祉活動のために活用していただきます。

21日に「はなまる連絡帳」で呼びかけさせていただきましたところ、翌日は募金してくれる人が増えたと聞いております。ご協力いただいた皆様に感謝いたします。



○生徒会役員選挙 立会演説会

10月24日（木）の6時間目に新しい生徒会役員選出のための立会演説会が行われました。今回は定数の倍になる12名の立候補者（2年生7名、1年生5名）とその応援弁士が舞台上がり順番に演説を行いました。どの生徒もほとんど原稿を見ることなく、自分の言葉で当選したら取り組んでみたいことや、立候補者を応援する理由などを実に堂々と発表してくれました。どの生徒が選ばれても間違いなく学校を更に良くしてくれる、そう感じさせてくれるような見事なスピーチでした。開票はその日のうちに行われ、2年生5名と1年生1名が新役員として選出され、翌日（25日）の朝に選挙管理委員長より公表されました。

今回は定員を超える立候補者がいたため、残念ながら当選できなかった人が多数出てしまいましたが、学校を良くするために貢献したいという思いは全員変わらず素晴らしいと思います。立候補者、応援弁士、選挙管理委員の皆さん、そして、これまで頑張ってくれた旧生徒会役員の皆さん、本当にお疲れさまでした。



○職業体験学習

10月30日（水）～11月1日（金）の3日間、2年生による職業体験学習が行われました。製造、販売、飲食業、教育、福祉、サービス、公共、公務、医療の9つの業種に分かれて、地域の事業所にて体験をさせていただきました。学校を離れ、初めて教員以外の人からの指導を受けての活動となりましたが、生徒たちは緊張しながらも生き生きと取り組んでいたように思います。いくつか事業所を訪問しましたが、あちこちで生徒たちの頑張りについてご評価いただきました。今回の体験を通じて、将来の仕事について自分自身で考えるきっかけにもらえると思います。お忙しい中受け入れてくださった事業所の皆様方に心より感謝いたします。



○会社活動

1年生がそれぞれの得意なことや好きなことを生かして、学年を盛り上げる自主的な活動として「会社活動」に取り組んでいます。先月の中間テストの前には、勉強を教えたい人と、教わりたい人たちによる柏中塾（仮称）が設立され、先日その業務報告がありました。現在新たに新聞社や清掃会社、ヘルプ&相談会社、総合サービス会社が立ち上がっており、社員を募集しています。この活動を通して生徒たちが主体的に課題に向き合い、行動できる「自立する力」を養ってほしいと思います。



○校長面接

10月21日（月）より、受験などの面接の練習として3年生が私と1対1で面接をしています。基本的に朝に2名、昼休みに1名、放課後に3名行っており、希望する進路のことや中学校で頑張ってきたことなどを聞かせてもらっています。授業を持たない私としては、10分程度の時間ではありますが、直接生徒たちと話せる貴重な時間であり、校内で見ていた時の様子からは分からなかったそれぞれの生徒の性格や考え方、関心などを知ることができ、毎日が新たな発見の連続です。まだ半分以上残っていますので、これからの人は必要以上に緊張せず、素の自分の良さが出せるようリラックスして臨んでほしいと思っています。